

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
老年看護学方法論Ⅰ	2年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	佐藤 純子 ※
授 業 概 要					
<p>高齢者に特有な健康問題・障害に焦点をあて、対象をICFの視点から修得する。また、健康問題・障害のある高齢者に対し、対象のもてる力を活用して望む生活に向かえるように、ICFの視点に基づいて看護を展開する。本科目では、口腔ケアの援助について、技術を修得できるように、演習を行う。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 高齢者に特有な健康問題・障害のメカニズムと看護について、生活機能を（ICF）の視点に基づいて理解する。</p> <p>2. 健康問題・障害のある高齢者に、看護を展開するための基本的知識と技術を修得する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 高齢者の生活機能とその特徴（老年看護学概論Ⅱの復習）				佐藤 純子 ※
2-8	2. 排泄パターンに変調のある高齢者の看護 1) 加齢変化や排泄障害を持つ高齢者に対する援助 2) 前立腺肥大症患者の看護 3. 高齢者に特有な疾患・症状と看護 1) 骨粗鬆症患者の看護 2) 大腿骨頸部骨折患者の看護 3) パーキンソン病患者の看護 4) 肺炎患者の看護 5) 電解質異常患者の看護				
9-11	4. 皮膚トラブルのある高齢者の看護 1) 高齢者の皮膚の特徴・スキンケア 2) 老人性皮膚掻痒症患者の看護 3) 褥瘡予防				外部講師
12-15	5. 摂食障害のある高齢者の看護 1) 加齢による摂食・嚥下機能の変化、咀嚼・嚥下障害のリハビリテーション 2) 口腔ケアの実際				外部講師
学 習 方 法					
講義 演習 ※高齢者の生活機能（ICF）について、老年看護学概論Ⅱの講義を復習してからの受講が望ましい。					
評 価 方 法					
[評価方法] 小テストの得点と科目修了試験の合計得点を評価点とする。					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
[教科書] 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 北川 公子著 医学書院					
[参考書] 必要時授業開始時に提示する。					